
編集後記

今号の小特集はキクの仲間をお届けしました。いかがだったでしょうか。キク科というと、大きくてとりとめがないような感じもしますが、それなりにキクらしい小特集にはなったのではと思います。準常連ともなりつつある門田裕一氏にはアザミに関する興味深い報告を頂き、巻頭が締められました。セイタカアワダチソウは降って湧いたような課題となりました。大きな分類群なので、これからもまだまだ話題を提供してくれる植物だと思います。

全くの余談ですが、お恥ずかしい話、レタスがキク科だということを最近まで知りませんでした。結球するし、なんとなくイメー

ジが白菜やキャベツと似ていると感じていたのかアブラナ科だと勘違いしていました。あまり見る機会はありませんが、花を見ると確かに *Lactuca* ですね。

次号第 38 号の小特集は東北道の植物になりました。宗谷岬から襟裳岬まで脊梁山脈で分けた東側を想定しています。一口に東と言いますが、北海道の半分を占める広大な範囲です。岬や峠など境界付近では多少はみ出しても構いません。特に東方面に強い方、お住まいの会員はどしどし原稿をお寄せください。

(編集委員 新田 紀敏)

会員を常時募集しています。会誌 7、8 号(在庫僅少) 10 ~ 36 号(22、24、26、30 号は絶版)のバックナンバーがあります。

いずれも事務局で対応していますのでご連絡ください。

本誌の記事はインターネット上でも公開する場合があります。著者の方はあらかじめご了解ください。本会のホームページは次の URL からどうぞ。

(<http://hopposansokai.web.fc2.com/index.html>)